

このシステムを稼働させるには、次のマスターを作成する必要があります。

1. 得意先マスター
2. 社名／営業所名マスター
3. 商品マスター
4. 担当者マスター
5. 銀行名マスター
6. ガス料金マスター
7. 名称名マスター
8. リースマスター（必須ではありません）
8. お知らせ文マスター（必須ではありません）

得意先マスター、商品マスター、料金マスター以外は、「標準のLPG販売管理システム」と同じなので、そちらの説明書を入手して下さい。

1. 得意先マスター

得意先マスターメンテナンス

上書 11-10-03 日付 得意先マスターメンテナンス LTMASTER V110711

更新 終了

得意先コード 0101039000 得意先名 ○○ ○○ 電話 ① 123-445-5624 (一般)
 〒/住所 289 1122 ○○○○○○○○○○ ② (携帯、FAX)

業務 3 1.販売 2.配送 3.販売と配送 配送センター センターコード

業種 地区 0 -- (年/頁) センターコード

検針有無 1.あり 地区CD 検針順 03800 集金日

検針日 1 検針順 締日 19 請求先

請求書 2.検針請求 検針担当 100 ○○○○ 集金担当 000 ○○○

営業担当 100 ○○○○ 料金表 965 単価/基本 .0

保安担当 003 ○○ ○ 任意区分1 2

保安番号

入金方法 3.自振 保証金 (預り日=○で削除) 預り日 000000 精算日 000000

自振 銀行 9900 56 □座番号 5866054 金額 0 精算額 0

預金者名 シェア ヨコ 状態 0 0. 継続

委託 委託先NO 99081 1. 精算済み

状態 0 使用中

変更事由

紹介者

Prea 前回売掛 0 消費税 0

基本料金 1 明細印字 1

登録日 000000

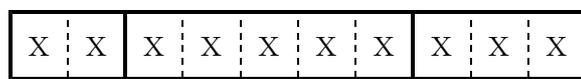
更新日 100407

得意先一覧表 自振一覧表 保証金一覧表 請求一覧表

Fn 訂正 コート順 検針順 逆順 検索 検索2

(1) 得意先コード

得意先 1 件づつにつける固定番号。同一のコードは許されません。
 同一の得意先に対して、販売、配送、その他の管理を行う場合は、コードは 1 つだけ作ります。
 但し、メーターが 2 つ以上ある場合には、検針伝票の発行に必要なので、同一の得意先であっても、メーターの数だけのコードを作って下さい。
 集合住宅のように、検針と配送が別々に行われる場合には、各戸とは別に、配送用のコードを作ります。すなわち、10 部屋あるとすれば、コードは 11 個必要です。



集合住宅の各戸に付ける。
 001~999
 配送用の親コードは、スペースまたは000にする。
 00001~99999の連番
 但し、1番刻みに付けると後で挿入ができるので、件数に応じて10番、100番刻みとしてもよい。また、先頭文字を地区分類に使用してもよい。

営業所、地域などを分類するのに使用する。
 検針伝票や請求書に印刷される会社名は、このコードで参照される。
 また、ほとんどの帳票では、このキーで小計、

合計を出すようになっている。
従って、他社分の伝票発行処理を行う場合には、
自社分とは別にしたほうがよい。

文字の種類は、数字、英字、カナ文字及びそれらの混在が可能。伝票入力時の操作性を考慮すると、
数字で統一することが望ましいです。

(2) 得意先名

得意先の個人名、会社名などを漢字で20文字以内で記入します。伝票や帳票のレイアウトによっ
ては、20文字全部が印刷されないものもあるので、左詰めで記入して下さい。特に、ハンディで
は11文字しか表示できないので、それを考慮して、登録を行って下さい。

請求書などの印刷は全桁印字します。

アパートなどで、未入居の場合は、部屋番号としてもよいです。

(3) 電話番号

2個まで登録できます。

番号は、次のように登録して下さい。

1 1 1 - 2 2 2 2 - 3 3 3 3

1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3

それぞれの桁数は、13桁までです。

市外局番を入れる必要はないが、C T Iとの連動を考慮して、始めから入れておくと
よいです。得意先の検索には、下4桁を使用します。キーは、①、②です。

(4) フリガナ

50音で得意先を取り出すのに使用します。画面検索では、前8文字だけ使用するので、検索しや
すいように記入して下さい。

(5) 郵便番号

3桁+4桁で、規定のものを登録して下さい。

(6) 住所

全角で40文字入ります。

最初の枠は、市区郡町（都道府県を除いて）

次の枠は、丁目と番地、建物名と部屋番号

と、登録すると良いです。

(7) 業務

得意先に対して適用する業務を指定します。

この指定によってレコードの発生、削除が行われ、使用するプログラムも制限を受けます。

1：販売管理だけを行う。

売上／入金伝票の入力が行える。配送伝票は入力できない。

2：配送管理だけを行う。

配送伝票の入力が行える。売上／入金伝票は入力できない。

3：販売管理と配送管理の両方を行う

すべての伝票の入力が行える。

◇このシステムの標準メニューには、「配送管理」がありません。通常は、「1」または
「3」を記入することになります。

しかし、集合住宅のコードを作るときは、「2」にしておくと分類上便利です。

(8) 配送センター

配送を委託している先の識別番号を入力します。自社の場合は、空欄で良いです。
コードおよびセンター名称は、「名称マスタメンテナンス」の「センター名」で行います。
検針データを交換する際には、このコードで識別します。相手先のシステムにより、交換できるかどうか判断が必要になります。
例えば、次のようにします。

○○○○○○配送センター . . . 01
△△△△△配送センター . . . 02

(9) センターコード

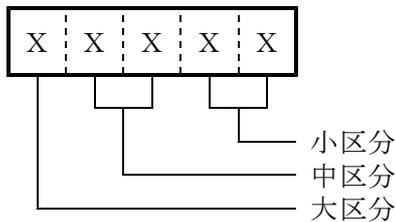
当システムと、他社（配送委託先など）を連携するときに、他社からみた当方のコードを登録します。

販売店コード（8桁まで） + 得意先コード（12桁まで）
他社からみた、当社の会社コード 他社からみた、顧客の得意先コード

（注）フロッピー、オンラインなどで他社と交換するには、前述の、「配送センター」の登録も必要です。
また、この機能は、オプションとなりますので、標準システムには含まれていません。

(10) 業種

得意先を業種分けして資料を取り出したいときに使います。
標準データが提供されるのでそれを参考にしてつけて下さい。



0：一般住宅
1：業務用（3号以下）
2：業務用（3号以上従業員10人未満）
3：業務用（3号以上従業員10人以上）
4：工業用
6：その他
A：簡易ガス 他は0と同じ
B：簡易ガス 他は1と同じ
C：簡易ガス 他は2と同じ
D：簡易ガス 他は3と同じ
Z：業種分類の対象にしない

用途の固定されているコードがあります。「名称マスタ」の「業種区分名」を参照してください。

(11) 地図

得意先の住居の位置を市街地図ですぐにさがせるように、頁や記号をコード化して登録します。
前の2桁には、地図の作製年を入れ、後の8桁には、ページ、たてよこの記号を入れます。

(12) 検針有無

販売管理の対象得意先中で、検針を行っているかどうかを、識別します。検針を行っていない場合は、検針日／検針順の指定があっても、検針伝票は出力されません。「1」を選択すると、ハンデ

イ、検針伝票、どちらにも出力されます。

- 1 : 検針の対象である。
- 2 : ハンディのみで検針する。 (03. 11. 07追加)
- 3 : 伝票のみで検針する。 (03. 11. 07追加)
- 9 : 検針の対象でない。

(13) 地区CD

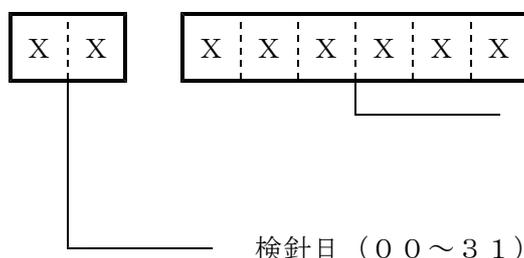
「売掛金管理表」を、地区別に印刷したいときに、使用します。

4桁以内で地区分けする。(町村、河川、ゼンリン地図など)

(14) 検針日、検針順

毎月の検針予定日、各検針日内の検針順をつける。検針順に帳票出力を行うならば、検針のない得意先にもつけておいたほうが良いです。

検針伝票の入力、出力は、この順番に行われるので、それを考慮してつける。



後で大量に挿入が必要になることもあるので、100番刻みくらいにつけておくとよい。先頭の1文字は、担当者のコードと対応させておくと伝票が切り分けしやすい。

(15) 集金日

毎月の集金予定日を入力します。

ハンディへ集金データを取り出すときに使用する。指定があると特定の集金日だけ取り出すことができます。

(16) 請求書

検針伝票以外に請求書の発行を行うか否かを指定します。

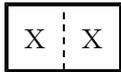
- 0 : 検針伝票にガス以外の売上明細を印刷し、別の請求書の発行は行わない。
検針伝票の入力時に売上明細の締め処理を行う。
従って伝票の入力時点が締め日になる。
- 1 : 通常の請求書を発行する。
検針伝票は、請求書として用いないので、前回からの売掛金及び売上明細は印字しない。
「検針請求書」、「葉書請求書」との重複発行が可能であるが、その発行だけでは締め処理は行わないので、「通常の請求書」の発行処理もしなければならない。なお、「通常の請求書」を先に発行すると、「検針請求書」、「葉書請求書」発行できない。
- 2 : 検針請求書、葉書請求書を発行する。
検針伝票にも、前回からの売掛金及び売上明細を印字する。
「検針請求書」、「葉書請求書」を発行する場合は、その発行時に締め処理を行うので、「通常の請求書」を発行する必要はない。
- 3 : 請求書の発行はしないが「月次データ締め処理」で売掛金(買掛金)の締めを行い、請求書の発行と同等の処理をする。
ガスの検針のない得意先(灯油のみ、仕入れ先、現金売り用の諸口など)はこれを指定する。

4：前回請求以降の売上明細だけを印刷する。入金は印刷されないで現在残高の確認はできない。入金時期が次の請求より後になってしまう様な得意先に指定するとよい。（主に会社、業務用）

(注) 請求書の発行ありとした場合は、必ず締日を指定すること。
検針請求書は、検針伝票の用紙を請求書として使用するものである。
ガスの検針のない得意先は、必ず0以外を指定すること。

(17) 締日

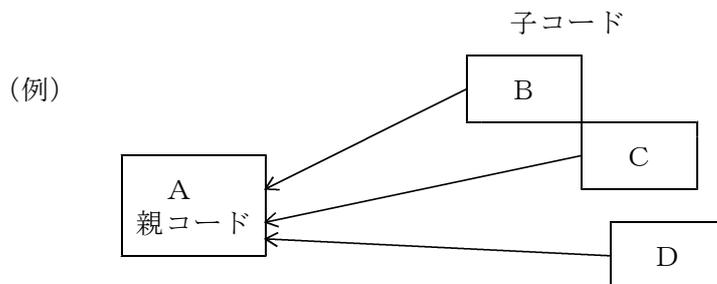
請求書を発行するときに、得意先を選択を行うために使用します。
請求書に印刷される明細は、毎月この締日までの分となります。



請求書の発行ありとした場合は必ず、00以外の日付を指定します。

(18) 請求先

複数の得意先の請求を1得意先に集めて、請求書を1つにしたいときに、集める先の得意先コードを指定します。



Aが本店で、B～Cが支店の場合で、支店の請求をまとめて本店に行くならば、請求先にAの得意先コードを指定する。

(19) 営業担当

この得意先の基本担当者のコードを登録します。担当者別のリストを出力するときに使用します。

(20) 検針担当

検針、販売関係の担当者コードを入れます。
帳票の印刷順や印刷範囲の指定にも用いる事が多いので、販売管理の対象得意先には、必ず指定してください。

(21) 集金担当

集金の担当者コードを入れます。ハンディで集金する場合は必要。

(22) 保安担当

保安関係の担当者コードを入れます。

(23) 料金表

ガス料金を決めるための、ガス料金表の番号(0001～9999)を指定します。

省略時は、0000になります。この番号に対応した「ガス料金表」を作成して下さい。

(24) 単価／基本

旧システムとの互換性のためにあり、通常は使用しません。

(25) 保安番号

保安センターに業務委託しているときに、センターで管理している消費者の番号を登録します。

(26) 任意区分

区分1：2桁の任意のコードを登録できます。

区分2：2桁の任意のコードを登録できます。

用途は、プログラムにより異なります。将来の拡張用に設けています。

(27) 入金方法

入金方法を区別します。

- 1：集金
- 2：現金
- 3：預金口座から自動振替する。
別に銀行番号などの登録が必要です。
- 4：生協
- 5：銀行振り込み
- 6：郵便振込。この指定があると、郵便振替用紙の印刷が選択的に行える
- 7：コンビニ

金融機関に自振の依頼書を出すには、3でなければなりません。3を指定したときは、銀行番号などの登録も必要です。どの選択を行っても、現金、振込での入金は可能です。

マスタメンテナンスプログラムでの処理
自振であった得意先を、例えば、「2. 現金」に変更したときには、自振の情報を消さずに、保存します。再度、「3. 自振」に戻したときには、再生されます。
実際に自振内容を削除するときには、**[削除]** ボタンを使用します。

【自動振替の場合は次の詳細情報が必要】

① 銀行

得意先の預金口座のある銀行の銀行番号と支店番号を入れる。

X	X	X	X	X	X	X
---	---	---	---	---	---	---

支店番号 (000～999)

銀行番号 (0000～9999)

郵便局の場合は、銀行番号は9900で固定。支店番号は、通帳記号の5桁のうち3桁を指定する。

(例) 通帳記号：10250

1	0	2	5	0
---	---	---	---	---

9	9	0	0	0	2	5
---	---	---	---	---	---	---

②口座番号

口座の種別と口座番号の7桁を指定する。

預金種別

1：普通預金

2：当座預金

(注) 郵便貯金の場合は、口座番号に通帳番号8桁のうち左の7桁を指定し、預金種別は0にする。

③自振請求

自振請求金額の計算方法を指定する。

0：預金口座振替請求書出力時の売掛残金（現在残高）

1：検針時（検針で締める人）または請求書出力時（請求書で締める人）の請求額。但し、請求額確定後に、自振での入金があれば、その分は差し引く。

④預金者名

預金口座振替請求書に印刷される口座名義人名をカタカナ30文字以内で指定する。

小文字は使用しないこと。

フロッピーで銀行とデータ交換を行う場合は、正確に入力すること。

⑤新規

預金口座振替を初めて行う得意先に対して指定する。

一度、自動振替が正常に行われて、入金されると自動的に0になる。

0：振替の実績あり（通常の状態）

1：新規振替得意先（一度も振り替えされていない）

2：更新（口座番号などの変更）

3：停止（自振請求しない）

(02. 12. 04追加)

⑥委託

ファイナンス会社などを通じて、自振を行っている場合に、そのファイナンス会社の識別コードを指定する。複数の銀行を束ねるのに有効。

X	X	X
---	---	---

000～ZZZ：例えば、浜銀ファイナンスは、001のように

⑦委託先NO

ファイナンス会社によっては、全銀のルール外に独自に定めた規格で、データ交換をしているところがあります。特に、得意先コード20桁の扱いが、まちまちであり、対応のとれないことがあります。その場合に、この20桁で、相手の指定するコードを入力しておき対応します。ここに何かを記入すると、フロッピーの作成時に、この内容が「顧客コード」として記入されます。

⑧自振請求

0：現在の売掛金で自振請求額を作ります。

1：請求時の売掛金で自振請求額を作ります。

請求書を発行していない得意先は、検針時の売掛金となります。

請求書を発行している得意先は、請求時の売掛金となります。

◇金融機関とデータの交換をするには、①印刷用紙、②全銀手順によるオンライン、③インターネットによるオンライン、④フロッピーなどの使用があります。
オンライン交換をするには、通信環境が必要です。また、通信ソフトを入手する必要があります。

◇コンビニ収納をするには、代行会社との契約が必要です。

(28) 状態

得意先の状態を表す1文字を指定できます。
プルダウンメニューから選択して下さい。

0～9：任意

A～Z：システムで使用するので固定

N：新設の得意先（マスタ登録未完了）

O：新設の得意先で空き家

T：停止中で供給なし

U：他社転換

V：引越し得意先（転出）

W：一時止め（休止中）

X：滞納止め

Y：引越空き家

リースの売上は行わないが、検針には行ける。。

Z：解約

検針伝票の発行も行われない。

(05.04.02追記)

項目の登録は、「名称マスタメンテナンス」の「状態」で行います。

(29) 変更事由

得意先マスタの項目の変更を行った理由を2桁のコードで指定できます。
プルダウンメニューから選択できます。

項目の登録は、「名称マスタメンテナンス」の「マスタ変更事由」で行います。

(30) 紹介者

新しい得意先を紹介してくれた得意先を記録しておくのに使用します。工務店などの得意先コードを入れておくとよいでしょう。コードでなく、名称をそのまま入力しても良いです。

(31) 保証金

保証金を預かったときに、その日付、金額をを記録します。

①預かり日：保証金を預かった日付を記入。
ここを0にすると、保証金情報は消えます。

②精算日：精算した日付を記入
預かり日を0にしなかった場合、保証金はあるが精算は済んでいるという状態になります。

③金額：保証金額

④精算額：返金した金額

⑤状態：0＝継続中あるいは未登録
1＝精算済み

(32) P r e a

検針ハンディで、残高や明細をどのように扱うかを指定します。

新規マスタの作成時には、「システム定数」から自動的に記入されます。

- ①前回売掛 : 0 = 繰越残金を印字しない
1 = 印字する
- ②消費税 : 0 = 税込み印字
1 = 外税印字
9 = 印字しない
- ③基本料金 : 0 = 印字しない
1 = 印字する
- ④明細印字 : 0 = 印字しない
1 = 印字する
◎リース、割賦は無条件に印字されます。

2. 商品マスター

商品マスターメンテナンス

上書 12-02-13 NAMIKI 商品マスターメンテナンス LTMSHOHN V100920

1.登録 2.更新 3.削除 4.参照 終了

コード 50103 (大=2,中=3,小=3桁)

分類名 LPG重量売り
品名 ガス20kg
型式

自動登録 0 (0.対象でない 1.対象)
商品区分 1 (ガス、器具、灯油などの区分)
該当なし

単位
販売単価 .00 (標準販売単価)

消費税 0 販売 (0.課税 1.非課税 2.税込み 3.税抜き)
0 仕入 (0.課税 1.非課税 2.税込み 3.税抜き)

安全装置 0 (立ち消え) (0.なし 1.あり) (空炊防止) (0.なし 1.あり)
 (不燃防止) (0.なし 1.あり) (過熱防止) (0.なし 1.あり)

燃料 0 (1.プロパン 2.灯油 3.電気 4.LNG)
消費量 .000 単位 (W=ワット K=kg/h 省略はW)

一覧表印刷

YES(F9) NO(F11)

(1) コード

商品のコードを8桁で入力します。



分類コードだけでは、商品コードとしては、使用できません。分類コード+品名コードの5桁で作成して、売上傳票の入力に使用します。

さらに、型式まで管理したいときには、型式コード3桁を追加して8桁で登録します。

分類コード、ZZはシステムで使用しますので、削除、変更はしないで下さい。このコードを使用しての、売上傳票の入力はかまいません。

<ご注意> ZZ020～ZZ020999の範囲のコードは、入金値引きとみなし、消費税は含まれるものとします。
ZZ021～ZZ021999の範囲のコードは、売上値引きとみなし、消費税が計算されます。ガス、器具など、それぞれ別個に値引きの管理を行いたい場合は、値引きの商品コードは、別途作成し、それぞれに、「商品区分」を登録して下さい。

(2) 分類名

商品の大分類名を入力します。通常は、メーカー名、器具の分類（ガス、灯油など）などに使用

します。名称は、漢字で20文字。半角文字は使用できません。

(例) リンナイ
パロマ
あるいは
ガス器具
GHP

(3) 品名

品名を漢字20文字で入力します。半角文字は使用できません。
売上傳票入力で商品コードを入力すると品名として表示されます。その他、請求書、問い合わせ画面などでも、この名称が使われます。

(例) ガス湯沸かし器
ガス風呂釜
プロパンガス重量売り
ガス器具修理部品
アセチレン
酸素

(4) 型式

型式を英数字20桁で入力します。半角文字で登録して下さい。
通常、8桁まで使用する場合は、単品管理を行いたい場合であり、器具などの型式を個別に管理したいときに使用します。仕入れ在庫管理を行う場合には、売上と仕入れで同じ商品コードを使用して下さい。

(例) PH-100
BJC-600J

(5) 自動登録

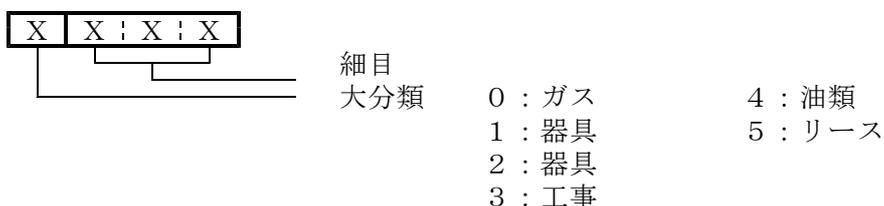
売上傳票入力で売上げた商品を、消費設備ファイルに自動的に登録するか否かを指定します。

1 : 設備ファイルに自動登録する。
主に燃焼器具などの場合。
0 : 登録しない。

(注) 顧客管理をしていないシステムでは常に0を指定する。
1を指定した場合でも得意先マスターの器具自動登録が1になっている得意先の売上傳票入力にのみ有効。

(6) 商品区分

ガス、器具、灯油など、大きな分類と、その中の細目を指定します。
コードの作り方により、商品のグループ管理ができます。



(7) 販売単価

売上傳票入力で表示する小売り単価を入力します。

少数以下2位まで。

この単価に消費税が含まれているかどうかは、「消費税」区分か、「システム定数」での規定によります。

(8) 消費税

- 0 : 消費税の対象である。
- 1 : 消費税の対象でない。
- 2 : 定価（売上額）は税込みである。
- 3 : 定価（売上額）は税抜きである。

(注) 2、3の指定は、[システム定数]の指定より優先する。

(9) 安全装置（燃焼器具を対象）

立ち消え安全装置	0 : あり	1 : なし	9 : 対象外
不燃防止装置	0 : あり	1 : なし	9 : 対象外
空炊き防止	0 : あり	1 : なし	9 : 対象外
過熱防止	0 : あり	1 : なし	9 : 対象外

(10) 燃料（燃焼器具を対象）

1. L P G
2. 灯油
3. 電気
4. L N G

(11) 消費量（燃焼器具を対象）

単位時間当たりの消費量を入力します。
単位で、W（ワット）、K（kg）を指定します。

3. ガス料金マスター

ガス料金登録/更新

上書 12-02-13 NAMIKI ガス料金表メンテナンス LTGSMTBL V110427

1.登録 2.更新 3.削除 4.参照 終了

表番号 適用開始年月 名称

計算基準

従量料金計算方法 1. (終端1 X 単価1) + ((終端2 - 終端1) X 単価2) ... + 該当範囲の基本料金
2. 使用量 X 該当範囲の単価 + 該当範囲の基本料金

丸め処理 0. 円未満切り捨て 1. 円未満四捨五入
2. 10円未満切り捨て 3. 10円未満四捨五入
4.5.6.7. 丸めを、本体と消費税別々に計算する。他は、0-3に該当。

消費税 0. 対象 1. 対象ではない 2. 税込み 3. 税抜き

基本料金初期値

計算テーブル	開始	終了	単価	基本料金	基準料金
1	.0	~ 20.0	390.00	1700.00	1700.00
2	20.1	~ 30.0	370.00	1700.00	9100.00
3	30.1	~ 80.0	350.00	1700.00	12600.00
4	80.1	~ 9999.9	340.00	1700.00	29100.00
5	.0	~ .0	.00	.00	.00
6	.0	~ .0	.00	.00	.00
7	.0	~ .0	.00	.00	.00
8	.0	~ .0	.00	.00	.00
9	.0	~ .0	.00	.00	.00
10	.0	~ .0	.00	.00	.00

一覧表印刷
料金表印刷

(1) 表番号

得意先マスタの料金表の番号。4桁の数字

(2) 適用開始年月

yy mmで指定します。覚えのためであり、必須ではありません。

(3) 名称

この料金の名称を記入します。覚えのためであり、必須ではありません。

(4) 計算基準

(4-1) 従量料金計算方法

- 基本料金が固定で、単価が使用量に応じて変化するもの。
0.0m3から最初の終了範囲までは、
使用量 × 単価 + 基本料金初期値
で計算します。終了金額が、2番目の項目の基準料金になります。
料金は次の計算式で求められます。

$$(\text{終端1} \times \text{単価1}) + (\text{終端2} - \text{終端1}) \times \text{単価2} + (\text{使用量} - \text{終端2}) \times \text{単価3} + \text{該当範囲の基本料金}$$

例

[開始]	[終了]	単価	基本料金	基準料金
1 0.0	~ 10.0	380.0	1600	1600

 ならば、次の計算で、2行目のスタートは、5400円になります。
 $10.0 \times 380.0 + 1600 = 5400$

この金額を基準料金と呼び、計算過程のチェックに使用します。

2	10.1	～				5400
2 項目の単価を、360円、終了を30m3とすると次のようになります。						
2	10.1	～	30.0	360.0	1600	5400
3	30.1	～				12600

終了を、999.9にすると、それが最終になります。

2	10.1	～	30.0	360.0	1600	5400
3	30.1	～	999.9	280.0	1600	12600

例えば、15.6m3の料金を計算してみます。

$$\begin{array}{r} (10.0 \times 380.0) + (15.6 - 10.0) \times 360.0 + 1600 = \\ 3800 \qquad \qquad \qquad + \qquad \qquad \qquad 2016 \qquad \qquad \qquad + 1600 = 7416 \end{array}$$

2. 簡易ガスなど基本料金が段階的に変化するもの
料金は、次の計算式で求められます。

使用量 × 該当範囲の単価 + 該当範囲の基本料金

例えば、次のような料金表の場合。

最初の8m3まで、単価が400円で、基本料金が1000円
最終3までが、単価が360円で、基本料金が4000円

例	[開始]	[終了]	単価	基本料金	基準料金
1	0.0	～ 8.0	400.0	1000	1000
2	8.1	～ 999.9	360.0	4000	4200

と登録します。基本料金は、自動計算されないので、手入力します。基準料金は、料金表を作るために、自動的に刻まれて計算されますが、ハンディなどで料金計算するときは、上記の計算式で行うので、一致するとは限りません。

(4-2) まるめ処理

- | | |
|--------------|--------------|
| 0. 1円未満切り捨て | 4. 1円未満切り捨て |
| 1. 1円未満四捨五入 | 5. 1円未満四捨五入 |
| 2. 10円未満切り捨て | 6. 10円未満切り捨て |
| 3. 10円未満四捨五入 | 7. 10円未満四捨五入 |

丸め計算の過程で、税抜き価格と消費税を別々にまるめることができます。その場合は、4から7を指定します。

(4-3) 消費税

この料金表が、消費税込みであるかないかを指定します。

0. 対象。(システム定数で内税ならば、内税。外税ならば外税)
1. 対象でない。(システム定数に依存しない)
2. 税込み。(システム定数に依存しない)
3. 税抜き。(システム定数に依存しない)

(4-4) 基本料金初期値

テーブルにセットする基本料金の初期値を入力します。0m3のときの料金にも該当します。入力は必須です。

料金テーブルの、基本料金欄にもコピーされますが、テーブル内は変更可能です。特に簡易ガスの場合には、注意して入力して下さい。

(5) 計算テーブル

単位の指定と、その間の単価を入力します。

0から始まるので、例えば、10m³まで390円とするならば、

		終了	単 価	
0	～	10.0	390.00	
10.1	～	30.0	360.00	
30.1	～	9999.9	320.00	(最後までを意味する)

のように入力します。

基本料金は、必要ならば記入します。各階層ごとに入力できます。基準料金はプログラムが自動的に計算します。各階層のスタート料金になります。

簡易瓦斯の場合は、基本料金は必ず各階層ごとに記入します。さらに、計算方法は「2」を指定して下さい。